

令和4年度 第3回 学校運営協議会



【林間学校（9月）】



【修学旅行（10月）】



【音楽会（11月）】

日時：令和4年12月6日(火) 10:00～12:00

場所：浜松市立可美小学校 多目的ホール

次 第

- | | | |
|---|--|--------|
| 1 | 開会の言葉
・開催要件の確認
・日程説明 | 10:00～ |
| 2 | 会長挨拶 | 10:05～ |
| 3 | 校長挨拶 | 10:10～ |
| 4 | 授業参観 | 10:20～ |
| 5 | 熟議
(1) 学校運営について
・可美小の特色ある教育活動
・全国学力・学習状況調査を振り返って

(2) 学校運営に必要な支援について
・令和5年度に向けて | 11:00～ |
| 6 | 連絡
(1) 次回 令和5年2月9日(木) 10:00～12:00 多目的ホール
(2) 次回議長の選出
(3) 次回の熟議の内容確認
(4) 学校運営協議会評価 提出期限 12月13日(火) | |
| 7 | 閉会の言葉 | 12:00 |

可美小学校の特色ある教育活動について

- 1 地域・社会と連携したキャリア教育の推進
- 2 異学年・幼小中交流による自尊感情の高まり
- 3 あいさつ運動協力校としての取り組み
- 4 ICTを活用した授業
- 5 みんなが主役の特別活動
- 6 学校教育を支えるボランティア活動





可美っ子

浜松市立可美小学校
学校だより No. 7
令和4年10月17日
Kami-e@hamamatsu-szo.ed.jp

全国学力・学習状況調査を振り返って

今年4月、全国の小学6年生と中学3年生を対象にして、「全国学力・学習状況調査」が実施されました。本校においても6年生児童が参加し、調査結果が届きましたので、概要を報告します。

浜松市の結果（正答率）

全国、県、市との比較

	国語	算数	理科
全国	65.6%	63.2%	63.3%
静岡県	66.0%	63.0%	62.0%
浜松市	67.0%	64.0%	62.0%



可美小学校の結果

1 学力調査 ～今まで学習したことで身に付いた力の調査～

国語、算数は、国・県・市の正答率を上回っていました。理科は平均と同程度でした。全体的に見て、基礎的な力は定着していました。各教科の問題を分析し、今後の学習活動に生かしていきます。

国語



【特によかったこと】

- ◎ 資料を読んで、理由を考えたり適切な文章を選んだりする問題や、漢字の間違いを直して正しく書く問題の正答率が高かった。

【課題となったこと】

- 条件に合うように資料を活用して自分の考えを述べるのが苦手な傾向にあり、無回答も多かった。自分の考えをもつこと自体が苦手な子が多いと考えられる。

【今後力を入れていくこと・家庭と連携して取り組んでいくこと】

- 目的や意図に応じて文章を読み、筆者の考えから要旨を的確にまとめたり、根拠や理由を考えながら読んだりする活動を行う。また、条件に合わせて自分の考えを短い文章にまとめる学習を行う。
- 短い文章や日記、自主勉強などを使って、文章を読んで、要点や自分の思ったこと、感じたこと、考えなどをまとめるワークシートを家庭学習として取り組ませる。

算数



【特によかったこと】

- ◎ 数と計算、変化と関係領域において正答率が高く、基礎的な力が身に付いている。
- ◎ 記述式の問題の正答率が高く、無回答率が低い。

【課題となったこと】

- データを基に答えを求めたり、目的に応じてデータの特徴を捉え考察したりする問題

に課題が残った。考察する時間が足りていない。実生活での実践場面が少ない。

【今後力を入れていくこと・家庭と連携して取り組んでいくこと】

- 算数の問題場面と実生活の繋がりを意識して授業をする。今の学習が実生活のどこで役立つのか伝えていく。
- データの活用の力が身に付くよう、他教科や生活とも関連させながら定着を図る。

理 科

【特によかったこと】

- ◎ 重要な理科用語、押さえるべきポイントがしっかり押さえられている。
- ◎ 実験器具、実験の条件を答える問題の正答率が高く、授業での実験や観察を丁寧に確実にやっている。

【課題となったこと】

- 自分で発想した予想と、観察、実験などから得られた結果を基に、結論を検討することに課題が見られた。

【今後力を入れていくこと・家庭と連携して取り組んでいくこと】

- 問題解決学習を基本とする授業を展開する。実験の過程や得られた結果を適切に記録し、結果を事実として分析して、解釈し、様々な角度から考察する場を多く設ける必要がある。考察の場面で、意見交流を活発に行いたい。



2 学習状況調査 ～子供たちの学習習慣、学校生活、学習状況に対する意識調査～

【可美小の子供たちが数年間継続してよい結果となっている質問】

- 「地域の行事に参加している」と答える児童が多い。
- 「家にどれくらい本があるか」について、平均よりたくさんの本を持つ家庭が多い。また、「新聞を読んでいるか」について「全く読んでいない」と回答した児童が少ない。読書や新聞などに触れる環境に恵まれている児童が多い。
- 総合的な学習の時間に「課題を立て、情報を集め整理し、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる」と答える児童が多い。

【キャリア教育の観点に関する質問】

- 浜松市でも力を入れているキャリア教育にかかわる質問の中で、「自分には良いところがある」と答える児童が多かった。また、学習に対する質問では、国語や算数の「授業は大切である」「将来社会に出たときに役に立つ思う」と答えている児童が多かった。

【生活習慣に関する質問】

- 可美小の数年間の結果を比べると早寝・早起き・朝ご飯など、基本的な生活習慣に関する質問において、定着している割合が少しずつであるが低くなっているため、家庭と連携しながら、よい生活習慣が身に付くようにしていきたい。



以上の結果を踏まえ、学校では、課題となった点を中心に指導に力を入れ、日常の支援や授業改善に取り組んでいきたいと思っております。また、今後も、主体的な学び、キャリア教育を意識した学び、ICT教育、課題解決的な学習などを推進し、21世紀をたくましく生き抜く子供たちを育て、子供たちの学びを未来につなげていきたいと思っております。ご家庭でも、生活習慣の定着や家庭学習の取り組みへの励ましなど、ご協力の程よろしく申し上げます。